2018/01/09（火） 電波新聞

7 面掲載 「IoT ソリューション提案」記事・名刺広告

明光電子

十川 社長

明光電子は半導体・電子部品の調達から技術、製造、検査までを一括サポートしているエレクトロニクス商社。

同社の経営理念には「我々の仕事は人まねではなく、人のやれないこと、難しいことに挑戦し、世の中に役に立つ新しい製品を生み出すための開発促進業である」とある。

人まねではない独創的な事業に取り組むことで顧客に喜ばれ、顧客との長い信頼関係を創り、社会に貢献しようというものだ。

IoTソリューション提案

その理念通り、IoT化の開発に必須となるセンサー技術、無線技術、開発プラットフォーム評価キットなどを活用した独創的なアプリケーションの開発に取り組んでいる。

ルネサス製マイコン「スマートアナログ」を使った産業、農業などユーザーに合わせたアプリケーションの開発に取り組んでいる。

スマートアナログは複数種類のセンサーやドライバーへの対応を想定し、回路構成および特性の変更をソフトウエアで設定できる製品群。マイコンからの制御で回路構成や特性が簡単に変更でき、これまで熟練者のスキルやノウハウ頼りで開発工数がかかっていたアナログ回路設計を大幅に改善する。温度センサーなどの各種センサーアプリケーションに適する。

十川正明社長は「スマートアナログを応用したアプリケーションが広がっている。実証実験も様々手がけている。18年はこれらが実を結ぶ」と期待する。

「LoRa低電力長距離無線IoTソリューション」を開発した。

LoRaはスペクトラム拡散変調の採用によりノイズや干渉に強く、秘匿性に優れ高感度で堅ろうなネットワークリンクを実現する無線通信規格。センサーやGPS情報など比較的小規模な情報を低消費電力で420メガヘルツによる長距離伝送が可能。端末に温度・湿度、気圧、CO_2センサーを実装し、スマートアナログRL78-G13搭載の無線モジュール、IoTゲートウエイを介してクラウドを活用する。

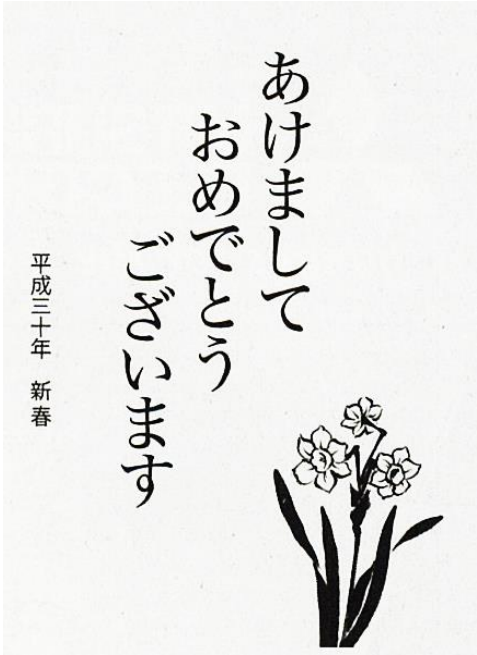
IoTエンジン、スマートアナログの組み合わせによるIoTソリューションも提案する。トロンフォーラムにより標準化が進められているクラウド上のIoTエンジンと接続により、同エンジン機器間の連携やクラウドサービス連携が可能になる。

MEIC

エレクトロニクス統合商社

明光電子株式会社

代表取締役 十川正明

横浜本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜三―一八―九 新横浜I-Cビル
電話（〇四五）四七一―二二三三
FAX（〇四五）四七一―二三七七

福岡本社 〒816-8585 福岡県大野城市東大利三―九―二
電話（〇九二）五〇二―二三四五
FAX（〇九二）五〇二―一一一五
営業所（北関東・八王子・大阪・京都）
デバイスセンター（新横浜）